

2025年12月17日

株式会社 電通グループ

電通グループ、日本の広告・マーケティング業界における カーボンカリキュレーター共同開発を始動 - JAAA /JAC/ JACE で広告業界の炭素削減に向けた基盤づくりを推進 -

電通グループ（ブランド：「dentsu」、本社：株式会社電通グループ、拠点：東京都港区、代表者：代表執行役社長 グローバルCEO 五十嵐 博）は、一般社団法人日本広告業協会（JAAA）、一般社団法人日本アド・コンテンツ制作協会（JAC）、一般社団法人 日本イベント産業振興協会（JACE）とともに、日本の広告・マーケティング業界における炭素の削減を目指し、広告制作やイベント等の広告に関わるカーボン（炭素）排出量を可視化・算出する「カーボンカリキュレーター」の共同開発に参画しました。

本取り組みは、広告制作やイベントなどの広告活動全般における温室効果ガス（GHG）排出量を可視化・算出する仕組みを整備し、業界横断で活用できる共通基盤を構築することを目的としています。

また、日本における広告業界の脱炭素化に向けた基盤づくりは、電通グループが2023年に発表した「Decarbonization Initiative for Marketing (DIM)」の重点テーマです。DIMで掲げた「日本におけるマーケティングコミュニケーションに伴い排出される温室効果ガス（GHG）の削減を図る」というビジョンに基づき、(株)電通グループ、(株)電通、(株)電通クリエイティブピクチャーズ、(株)電通ライブが、広告・制作・イベント・マーケティング領域で連携しながら参画しています。

近年、企業活動における温室効果ガス削減の重要性が高まる中、広告・マーケティング領域においても、制作・イベント実施過程における排出量を測定・管理する仕組みの整備が急務となっています。今回の取り組みは、業界横断的な枠組みによって、広告会社・制作会社・イベント会社が利用できるカリキュレーターを開発し、透明性の高い基準を整備することを目的としています。

本カリキュレーターは現在、国際的な算定基準や国内外の実務に基づいて設計を進めており、今後は精緻化と実証を重ねながら、業界全体での実運用を目指します。また、活用にあたってのガイドライン策定も順次進め、広告制作に携わるあらゆる関係者が参照できる指針を整える予定です。

電通グループは、広告・制作・イベント・マーケティング領域を横断する連携を通じ、業界全体の持続可能な発展と、社会に対する責任あるコミュニケーションの実現に向けて引き続き取り組んでまいります。

dentsuにとってサステナビリティは、パーソンズである「an invitation to the never before.」を実現するための大前提であり、その推進戦略が「価値創造戦略」です。この戦略は、「事業を通して困難な社会課題を解決する未来のアイデアを生み出していく」ことを目指すものであり、財務的側面と非財務的側面のさらなる統合を通じて、グループ全体の企業価値向上を図っています。当社グループは引き続き、B2B2S (Business to Business to Society)企業として、企業・政府・市民社会をはじめとする多様なステークホルダーとの協働・共創を通じて、社会課題の解決に貢献していきます。

※ 電通グループの「2030価値創造戦略」の詳細については、こちらのリンクをご参照下さい。

URL: <https://www.group.dentsu.com/jp/philosophy/2030-value-creation-strategy.html>

以上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通グループ グループコーポレートコミュニケーションオフィス 小嶋、中川

Email : group-cc@dentsu.com